

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 3 月 2 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4 2 7 1 6 0 1 2 2 3		
法人名	新上五島町在宅ケアセンター 株式会社		
事業所名	グループホーム あいりん		
所在地	〒857-4402 長崎県南松浦郡新上五島町奈摩郷 910-10		
自己評価作成日	平成 25 年 2 月 6 日	評価結果市町受理日	平成 25 年 3 月 11 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 一階
訪問調査日	平成 25 年 2 月 26 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

入居者様のできない所よりも、できる所に着眼点をおき、私達が当たり前に行っている生活を当たり前で生活して頂けるよう、どうしたらできるかを常に考えながらお手伝いさせて頂いてます。その人らしさを大切に、生活歴や病歴を把握しながら施設内活動 (趣味、料理、運動) などや屋外活動 (買い物、散歩、行事等への参加) に力を入れ、人との関わり、コミュニケーションを重視しながら業務に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

理念である「心と心のつながりを、人と人とのふれあいを大切に」の下に、日常の支援において利用者と接する時間を多く設けておられ、身体の触れ合い (タクティルケア) に心掛け、利用者に寄り添った支援が実践されている。また、法人が主体となっている地域との行事、敬老会や運動会等は、写真にもおさめられ利用者も共に楽しまれている様子が窺える。また、1年に1回リフレッシュ旅行が企画され、利用者・家族と一緒に楽しまれている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝、夕の申し送りミーティングで理念を共有して、日々のケアで実践できるように取り組んでいる。	「心と心のつながりを、人と人とのふれあいを大切に」を理念とし、日常の支援において利用者と接する時間を多く設けておられ、身体の触れ合い(タクティルケア)に心掛け信頼関係の醸成と実践に繋げている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域生活の継続支援と地域行事の参加など、地域の方々との交流を強化した活動をしている。	利用者の日光浴や散策を日課とされ、地域の方との挨拶や触れ合いの場として取組まれている。また、ホームを含む法人が主体となり、地域御輿の大イベントが年に数回開催され、地域住民が多数参加され交流が図られている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム見学者の受け入れ、イベントへの参加交流等を通じて行っている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	今年1回しかしていないが、普段から家族や行政・地域の方々の意見や要望等はサービス向上に活かしている。	定例開催に至っておらず、年間の総括報告会となっており、運営推進会議の趣旨に沿った取組みとなっていない。また、参加者の日程調整を考慮するあまり、開催時期を逸している。	運営推進会議の趣旨に沿った開催方法が望まれる。また、参加者に拘ることなく、近隣住民や保育園、駐在所警察官等広く声掛けする等の取組に期待したい。
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者とは定期的に意見交換したり、助言を頂いたり、連携をとっている。	市町との連携や協力関係の構築は、法人が主体となって取り組まれている。ホームとして積極的な働き掛けとなっていないが、相談や運営推進会議の参加等の協力は得ている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室や玄関に鍵をかける事なく、十分に理解し、目配り、気配りで利用者一人一人の行動パターンを把握し見守りケアを重視している。</p>	<p>部外・部内研修で知識の取得が図られている。日常的に身体拘束の実態は無いものの、スピーチロックの問題があげられるが、管理者や職員間で注意喚起することで対処されている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加して知識を深めミーティング、申し送り時、注意、確認し、言葉かけ等も意識していない部分は注意しあっている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在は必要な利用者はいない。個々に勉強している。研修の機会があれば参加している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者はケアマネジャーと連携し、家族、利用者を交えて十分な説明、意見交換を行い理解、納得を図っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>来館時にはコミュニケーションを取り、日頃から意見を言いやすい雰囲気づくりに努め、意見箱の設置により得られた意見をミーティングや連絡ノートで共有し改善にとりくんでいる。</p>	<p>地域からの利用者が多く、家族面会も頻繁に行われているため、意向を聴取しやすい環境にある。島外に居住する家族には「ホーム便り」を2カ月毎に送付し、利用者の近況報告を兼ね要望等を確認する取り組みが行われている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>個別面談の実施により意見、提案を聞き全体会議、ミーティングで話し合い、実践につなげている。</p>	<p>管理者は日常業務の中で提案や意向を汲み取り、随時対応や職員会議に諮り、対応する等ケースに合わせた取組が行われている。また、常日頃から話し易い職場雰囲気となっている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個々の生活や現状を考慮した職場環境、条件の整備がおこなわれている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に参加する機会を確保し、資格の取得を積極的に行っている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>研修会や交流会などで意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>自宅に訪問し、意見・要望を聞いたり、ホームの見学体験利用をして安心感を持っていただく。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>自宅訪問やホームの見学などを積極的に行いコミュニケーションを多く取っている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者・家族・ケアマネジャー・管理者で不安・疑問点があれば、安心・納得していただけるまで話し合うよう努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>尊敬の意を持って接するように心がけている。いつも心に寄り添ってお互い信頼しあえる関係づくりに努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族とのコミュニケーションを十分にはかり信頼関係を築くように努めている。安心して生活できる環境・雰囲気作りを家族と共に考え実行している。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>希望があれば積極的に外出の支援、親戚や地域の方々の差し入れがあれば、お礼状の発送、電話にてなじみの関係作りに努めている。</p>	<p>知人、親戚へホームから面会依頼を行う等の支援が行われたり、利用者を馴染みの場所へ連れ出す等繋がりや途切れないような配慮ができています。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>個別に話しを聞いたり、相談に乗ったりみんなで楽しく過ごす時間や場面の工夫、職員が調整役となって支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も関係が途切れないよう、お盆・お正月の挨拶回り、地域で出会った際は気兼ねな言葉かけ、会社の広報誌送付などしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>普段の会話の中でさりげなく聞き出す、表情や気持ちをとらえる。家族からも協力を得ている。</p>	<p>利用者との寄り添いに意識して取組まれ、その中から把握した意向や要望は連絡帳や生活記録簿に記録し、職員間で共有されている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>普段の会話・コミュニケーションから利用者自身について知る機会を多く持ち、少しずつ把握に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者一人一人の様子の変化に気づくように、普段の現状把握に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族の要望を聞き入れ定期的にケース会議を行っている。</p>	<p>毎月の全職員のカンファレンス会議で意見交換を行い、介護計画作成者である主任と副主任で検討され、家族等の要望を確認し、介護計画書が作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者の毎月の状況や職員の気づきなどの個別記録をし、朝夕の引き継ぎで情報を共有し、必要に応じて検討・見直しを行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>事業所の多機能化と連携を取りながら状況に応じた対応ができるようにしている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の各種施設や学校、老人クラブボランティアなど利用者が関わられる事のできる資源を見つけ出し充実した生活ができるように努めている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>契約時に利用者家族の了承を得て主治医に相談している。</p>	<p>主治医は協力医院（県立上五島病院）を兼ねているため、細かな医療支援が受けられる仕組みとなっている。</p>	

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>デイサービスの看護師と連携を取り、相談・助言を受けている。受診医の看護師とも相談できる。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>早期退院のため、病院関係者との関係作りに努めている。職員はこまめに尋ね、状態の把握、医師・看護師との連携に努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人の気持ちを大切に、家族の意向をふまえ、家族と話し合い利用者が安心して終末期を過ごしていけるように取り組んでいる。</p>	<p>これまで、救急搬送で医療機関対応となっている。ホームでも終末期から看取りまでの方向で検討されているが、具体的な取組が出来る状況にない。</p>	<p>看取りマニュアルの作成、職員の育成や研修が望まれる。また、医療機関等や家族協力などの看取り体制の構築に向けた取組に期待したい。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全体会議やミーティングなどで対応について確認し、個人でも頭の中でシュレーションし、緊急時に冷静にスムーズに対応できるように準備している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に消防署立ち会いの消防訓練を実施している。研修にも参加、近隣住民の協力も得ている。</p>	<p>外部評価訪問時には避難訓練等が未実施であった。近々実施予定である。隣近所の住民に避難誘導役をお願いしてある。また、職員数名が近隣に居住しており、一次対応班として駆けつける仕組みとなっている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底に取り組んでいる。	言葉遣いや声掛けにも人格に配慮した取組みが実践されている。プライバシーや羞恥心にも配慮されている。また、職員の確認動作と利用者の自主決定を求める支援や介護となっている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	関わりや会話の中で思いや表情を読み取り、本人のペースに合わせ自己決定できるように支援している。	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人の性格や行動を把握し、その人にあった支援をするよう努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人の生活習慣にあわせ支援している。行事当日は化粧、おしゃれを楽しんでもらえるように取り組んでいる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理も一緒に行い、同じテーブルを囲んで楽しく食事できる雰囲気作りを大切にしている。	毎月、弁当の日を設け、盛り付け、器等目先を変えるなど工夫がされている。ピクニック気分で屋外での食事や外食を取り入れるなど楽しい食事の演出もされている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人の残食・水分摂取量のチェックや状態に応じて、量・形態・味付けにて支援している。	

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、個人に合わせた口腔ケアを実施、口腔状態のチェックも気がかけている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、時間で誘導し、トイレでの排泄支援をしている。なるべくパット・オムツを使用しないよう心がけている。</p>	<p>「全員を布パンツで過ごしていただく」との取組で排泄パターンによるトイレ誘導により自然排泄を促し、布パンツへの移行を実践されている。また、家族からは費用軽減になったと喜ばれている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取、適度な運動、食生活の工夫、腹部マッサージなどを行い、自然な排便に努めている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者の希望や状態に合わせて湯温の調整をしている。コミュニケーションの一番持てる楽しい支援の場です。</p>	<p>毎日、自由な入浴体制を取っておられる。季節によって、ミカン風呂や菖蒲湯等々も取り入れている。急な発熱時などは、清拭と下着替えを行っている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中の活動を促し、生活リズムを整える。自宅で使っていた慣れた布団で心地よく休んでもらうように支援している。寝付けない時は添い寝・スキップを配慮している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬ファイルの作成をし、職員が内容の把握をできるようにしている。服用時は手渡し、服用の確認も行っている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>得意分野でそれぞれの力を発揮できる仕事をお願いしている。気分転換になるように外出、地域の行事参加を支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>利用者・家族の希望で支援している。近くの神社へ散歩がてら参拝に行っている。</p>	<p>買物・通院等日常の外出を伴う支援や散策を日課とした地域交流や外気浴を楽しんでいただく支援となっている。年間・月間と多彩な外出支援行事が計画されている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>各自の経済状況や能力に応じて支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の希望により支援している。電話しやすい雰囲気作りをし、電話や手紙が出せる支援をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度湿度に気をつけ、こまめな換気を行っている。季節によりリビング、居室の飾り付けも行っている。</p>	<p>ユニットごとに季節に応じた飾り付け（オブジェ）が施されている。自然光の取入れなど採光や空調機による温度管理も適切で居心地のいい生活環境が提供されている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファに座る時は、場所に配慮しトラブルがないように努めている。1人になりたい時は居室にて過ごしていただく。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていたなじみの物や写真・使い慣れた日用品を持ち込み、居心地のよさに配慮している。	ベットは備付となっているが、調度品や身の回り品等持込みは利用者の自由となっている。居室のレイアウトや模様替えは居室担当職員が決めてあり利用者と一緒に飾り付けが施されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	状況に合わせ環境づくりに努める。利用者の不安材料を取り除き支援している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を常に頭の中にいれて、業務の中で共有し、実践に繋がるよう日々努力している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	普段の挨拶は勿論だが、日頃より地域の行事の参加や交流会の場を設ける事で、地域との交流を深めている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	慰問やボランティアの受け入れ、散歩時の交流を図り身近に感じて頂く事で、認知症の人に対する理解を得て頂く事に努めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そのでの意見をサービス向上に活かしている	御家族や民生委員、管理者、職員、行政との意見交換や行政からの指導・助言も含め、サービス向上に活かしている。		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ケアマネジャーが、意見交換や情報収集等、関わりを持っており、助言を頂いている。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	居室や玄関への出入りの自由、鍵をかける等、行動の自由を尊重し見守りのケアに取り組んでいる。		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	研修で学ぶ機会を与えてもらっており、身体的虐待だけでなく精神的虐待も含め、広い範囲で虐待に対する知識を学び、意識するよう努めている。		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	研修で学ぶ機会とは与えられているが、今の所必要とされている利用者様はいない。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	ケアマネジャー、家族、利用者様を交え、疑問点、要望をとらえ、意見交換や説明を行い理解、納得を図っている。		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	御家族様とは、日頃からコミュニケーションを密にとるよう心がけ、意見を言いやすい環境作り等に努めている。相談、要望があれば連絡ノートで情報の共有、会議で改善策を話し合い取り組んでいる。		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	個別での相談を設けたり、全体会議やミーティングへの話し合いに繋げ、意見を出しやすい機会を設けている。		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員の生活状況を考慮し、要望に応じながら、働きやすい職場環境作りに努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に参加する機会を多く与え、資格取得にも積極的に働きかけ、スキルアップを進めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>研修会等で交流を持ち、意見交換を行い、施設見学等サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>要望や不安なことは、利用者様、御家族様が話をしやすいように、自宅に訪問し話しやすい環境を心がけ、ホームの見学等、安心感を得られるよう努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>自宅への訪問やホームを見学して頂いたり、密にコミュニケーションを取ることで関係作りに努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様、御家族、ケアマネージャー、管理者を交え、不安や気になる点は納得して頂けるよう、努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は利用者様が人生の大先輩であることを意識し敬意を払い、なおかつ家族のように寄り添う関係を築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御家族とのコミュニケーションを多く持ち、信頼関係作りにも努めている。利用者様へのよりよい環境作りを御家族と相談しながら支えている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者様、御家族の希望に添い外出の支援に努めている。又、関わりがあった方にはお礼の葉書や電話を入れ、関係が途切れないよう努めている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者1人、1人の個性を重視し、利用者様同士の交流が回りやすいよう職員が間の入りコミュニケーションを取り、円滑になるよう努めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後もお盆、お正月に挨拶に行ったり、年賀状、暑中お見舞いの葉書を定期的にだしている。近くを通る際には声をかけさせて頂き、関係性を大切にしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>談話の中で聞いたり、表情や言葉からくみ取ったり、御家族からの協力を得ることもある。</p>		

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者様を深く知る為に、会話やコミュニケーションの機会を多く持ち、思いを受けとめるよう努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者様の普段の状態を把握し、変化には敏感になり、観察力の重要性を大切にしている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>定期的にケース会議を開き、職員間で意見の交換をし、利用者様やご家族様の意見も活かしている。</p>		
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者様の毎日の様子、気付き等、個別ファイルに記録し引き継ぎを怠らないよう、情報の共有、見直しに活かしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>他事業所との連携をとり、臨機応変に対応できるようにし、多機能化に取り組んでいる。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の把握に努め、各種施設、学校ボランティアの受け入れ、関わる事のできる資源を見つけ出し、充実した生活ができるよう努めている。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>特変時や緊急時に相談できる、医療機関の関係を築いている。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>デイサービスの看護師との連携、相談、助言を受けている。受診機関の看護師に相談している。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>早期退院に向け、御家族や主治医との話し合い、又、受け入れ体制作りにも努めている。入院中は病室に訪れ、状態の把握に努め、医師、看護師との関係作りにも努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合、御家族、主治医と話し合い、又、緊急時には事業所全体で、支援に取り組んでいる。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングで、緊急時の対応等確認し備えている。各個人、頭の中でシュミレーションし、冷静に対応できるよう備えている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立ち会いのもと避難訓練を行い、指導を受けたり研修参加もしている。近隣住民の協力も声かけをお願いしている。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人、1人の人格、個性を尊重し、敬意を払い、さりげなく安心できるケアを心がけている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを図り、本人の思いに寄り添えるよう、自己決定の尊重を重視している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先とならないように、利用者様のペースで支援するよう心がけている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの美容室へ行ったり、ホームでも美容師の資格をもつ職員に、対応してもらっている。利用者様の親戚の理容師の協力もある。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根切り野菜の皮むき、かまぼこ作りや手作りおやつなど会話を楽しみながら一緒に行っている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や、嚥下状態に合わせた食事を提供している。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、1人1人に合わせた口腔ケアをしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>オムツの使用は極力行わないよう、排泄パターンを把握しトイレ誘導を行い、自立支援を行っている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食生活に気を配りながら毎朝、牛乳ヨーグルトなどの乳製品を取って頂くなど、水分摂取にも心がけ運動腹部マッサージなど、自然排便に心がけている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者様の好みの湯温や、室温の差がないように、又、湯舟につきりながら会話をすることで、コミュニケーションを大切にしている。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>利用者様それぞれの睡眠パターンを把握し、本人様に負担をかけないように心がけながらも、夜間への睡眠にも繋がるよう運動や散歩を促している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬のメリット、デメリットまで理解し、服薬後の変化等、体調観察を強化している。口に入るまで、飲み込みまでの確認も行っている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>それぞれの得意な事や、力量に合わせ楽しんで頂ける趣味や役割を、生活の中で活かせるよう支援している。行事参加、外出など気分転換もやっている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>利用者様の希望や、ご家族の要望は支援を行い、地域の行事などゆかりのある方には、こちらから出かけられるように支援している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>各自の能力、経済状況を考慮しながら、一緒に買い物行き、お金を持つ楽しみを支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があれば電話の支援や、手紙の代筆など支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室温、湿度、光の調整、音の配慮、加湿、換気に気を配り、居室、リビングも季節を感じるものに心がけている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>1人で過ごす時間を見守ることで支援し、リビングや食事の場所での座る場所など、トラブルにならないよう配慮している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していたもの、タンスや布団など使用したり、写真や思い出の品など、居心地の良さを感じて頂けるよう努めている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方にとって住みやすい環境を整え、家具の配置など危険のリスク回避に繋げ、安全、自立した生活ができるよう、支援している。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の	
				2, 利用者の2/3くらいの	
				3, 利用者の1/3くらいの	
				4, ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある	
				2, 数日に1回程度ある	
				3, たまにある	
				4, ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が	
				2, 利用者の2/3くらいが	
				3, 利用者の1/3くらいが	
				4, ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が	
				2, 利用者の2/3くらいが	
				3, 利用者の1/3くらいが	
				4, ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が	
				2, 利用者の2/3くらいが	
				3, 利用者の1/3くらいが	
				4, ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が	
				2, 利用者の2/3くらいが	
				3, 利用者の1/3くらいが	
				4, ほとんどいない	
62		利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が	
				2, 利用者の2/3くらいが	
				3, 利用者の1/3くらいが	
				4, ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と	
				2, 家族の2/3くらいと	
				3, 家族の1/3くらいと	
				4, ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない